

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

〈飛騨御坊 御遠忌750〉

法要厳修計画書・総計画（変更）・2018年度御遠忌特別会計予算



本山荘川桜

2018年7月10日

高山教区・高山別院
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌推進委員会



高山別院本堂
御本尊還座式執行
2018年11月1日(金) 午前10時

「飛騨御坊御遠忌 750」ホームページ開設 <http://goenki750.hidagobo.jp/>

宗祖御遠忌法要厳修計画書

1 宗祖御遠忌・落慶法要厳修について

① 厳修年月日 2019年5月10日(金)～12日(日)(二昼夜)

② 厳修日程

5月10日(金)

午前10時	高山別院本堂屋根等御修復落成慶讃法要(1時間)
11時10分	工事関係者への感謝状贈呈式(20分)
11時40分	法話(30分) <u>清見組蓮徳寺 三本昌之氏</u>
午後1時30分	初逮夜(音楽法要)(50分)
2時30分	法話(40分) <u>高山一組不遠寺 四衢 亮氏</u>
5時	初夜・御伝鈔(1時間45分)
7時	御遠忌讃仰真宗公開講座(2時間)

シンガーソングライター やなせなな氏

5月11日(土)

午前7時	初晨朝(40分)
7時50分	法話(30分) <u>益田組浄福寺 三木朋哉氏</u>
10時	初日中(にっちゅう同朋唱和)(1時間10分)
11時20分	法話(40分) <u>高山二組往還寺 内記 浄氏</u>
午後1時30分	結願逮夜(おたいや同朋唱和)(1時間) 御参修
2時50分	法話(40分) <u>東京教区存明寺 酒井義一氏</u>
4時	帰敬式(定員:200人) 門首執行
7時	御遠忌祝賀会(高山グリーンホテル)

5月12日(日)

午前7時	結願晨朝(45分)
7時55分	法話(30分) <u>高山二組往還寺 内記 洸氏</u>
10時	庭儀・別院北門出発(1時間30分) 御親修・御参修
午後12時	法話(40分) <u>同朋大学前教授 廣瀬 惺氏</u>
12時50分	結願日中(2時間) 御親修・御参修

③ 同朋唱和(門徒参加型の法要の厳修) — 「同朋唱和御遠忌」に向けて

【にっちゅう同朋唱和】

- イ) 日時 5月11日(土) 午前10時 初日中
- ロ) 対象 現組門徒会員及び前組門徒会員
- ハ) お勤め 正信偈草四句目下 念仏讃洵三 和讃:三朝浄土の大師等 次第三首
- ニ) 勤行本 『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』
- ホ) 人数 329人(現組門徒会員222人、前組門徒会員107人)
- ヘ) 記念品 『正信偈同朋唱和集』(金紋文字表記入り) ※練習用として事前に配布

【おたいや同朋唱和】

- イ) 日 時 5月11日(土) 午後1時30分 大速夜
ロ) 対 象 募集による各寺院代表者
ハ) お勤め 正信偈真四句目下 念仏讃洵五 和讃：五十六億七千万 次第六首
ニ) 勤行本 『同朋唱和勤行集』(緑本) 東本願寺出版発行
ホ) 人 数 266人
ヘ) 記念品 『正信偈同朋唱和集』(和綴本) ※御遠忌法要結願速夜後に配布
ト) おたいや合同練習日(平日の夜に行う) ※ 会場は高山別院本堂
2回目 2018年10月30日(火) 午後7時～
3回目 2019年4月5日(金) 午後7時～ 習礼として実施

④ 帰敬式

帰敬式受式が促進される中、御遠忌年度としては、特に同朋唱和参加者に別院報恩講又は本山及び各寺院で帰敬式を受式いただき(肩衣を着用して)御遠忌法要に臨んでいただくよう促しをしていく。また、御遠忌法要においても、可能な限りの規模で帰敬式を執り行う。

【2018年度報恩講における執行(鍵役執行)】

- イ) 日 時 2018年11月3日 午前8時30分～10時
※ 当年のみ、特別に日中法要開始を30分遅らせ10時半からお勤めする。
ロ) 対 象 一般・特に、帰敬式未受式の同朋唱和参加者に呼び掛ける。
ハ) 定 員 120人
ニ) 募集期間 2018年8月～10月10日(別院申し込み締め切り)
ホ) 事前学習 2018年10月17日 午後7時～ 講師：高山別院輪番
19日 午後1時30分～ 講師：高山別院輪番
2回開催し、どちらかの可能な日に出席いただく。
ヘ) 広 報 寺院を通しての案内・同朋唱和の練習の場での案内
※ 同朋唱和参加者への募集にあたっては、受式案内についての願いが伝わるよう、正副組長会及び各組巡回で趣旨及び留意点の伝達を十分に行う。また、同朋唱和実行委員会にも協力をいただきながら呼びかけ、9月末までに練習会が開催される場合は、会での案内もいただく。

【御遠忌法要での執行(門首執行)】

- イ) 日 時 2019年5月11日 結願速夜後 午後4時～
ロ) 対 象 帰敬式未受式のすべての真宗門徒
ハ) 定 員 200人(法要日程の都合上、200人程度を上限とする)
※ 法要日程の関係で、受付及び受式説明は1階御坊会館で行う。
ニ) 受式冥加金 ¥13,000—(例年の別院報恩講に準ずる)
ホ) 募集期間 2018年12月～2019年3月末
ヘ) 事前学習 2019年4月22日 午後1時30分～ 講師：高山別院輪番
午後7時～ 講師：高山別院輪番
※ 2回開催し、どちらかの可能な時に出席いただく。

【帰敬式実施体制】

別院教化小委員会を中心に、式支配・列座・掛役の儀式関係者、他実行委員を若干人加えて帰敬式実行委員体制を整える。

⑤ 庭儀（結願法要）

結願法要に先立ち庭儀（稚児行列）を執り行う。

- イ) 庭儀発進 5月12日 午前10時
- ロ) 庭儀順路 別院北門 ⇒ 暎芳寺前 ⇒ 下一通 ⇒ 安川通 ⇒ 別院参道 ⇒ 別院
- ハ) 稚児募集人数 150人
- ニ) 稚児募集開始 2018年10月
- ホ) 冥加金 ¥7,000-

⑥ 御遠忌参拝について

イ) 御遠忌参拝席

<本堂内参拝席>

御遠忌中の参拝席は全て椅子席（パイプ椅子）とする。席数については、最大で474席とし、その内訳は団体参拝席（各組割当）・一般参拝席（自由席・予備席）・来賓席とする。また、車椅子席も設ける。

<本堂外参拝席>

本堂内に席を準備できない方のため、大型スクリーンを設置したサテライトの参拝所を境内に設ける。

ロ) 各組団体参拝・同朋唱和参加者参拝席

<各組団体参拝対象の座>

5月10日 午前：落慶法要 午後：初逮夜（音楽法要）

5月11日 午前：初日中 午後：結願逮夜

5月12日 結願日中 以上、5座とする。

<団体参拝席の割当方法>

同朋唱和参加者席以外の各組への団体参拝席の割当方法は、宗派実施の門徒戸数調査による各組門徒指数を基に算出する。ただし、一般参拝席（自由席・予備席）を十分に確保するため、一組・二組・益田組の割当数を減数調整する。また、上記により割り当てられた席について、2018年10月31日までに、組と組の間で合意がなされたものについては、調整が可能なものとする。

<同朋唱和参加者席>

「にっちゅう同朋唱和」参加者については、各組ごとに現組門徒会員及び前組門徒会員（再任者を除く）人数分の席を確保する。

「おたいや同朋唱和」参加者については、法要当日に本堂の前方に詰めて着席いただくことが考えられていることから、各組において確定した同朋唱和参加者人数分の席を参拝席前方に確保する。

<団体参拝の方の御香儀への対応方法について>

御香儀について、特に団体参拝の方への対応方法については、法要当日の受付体制

など諸要件を見据え、関係者と十分に協議する。

ハ) 一般参拝席（自由席・予備席）

団体参拝以外の自由参拝の方々の席として、全席数の2割程度をこれに当てる。なお、他教区からの団体参拝については、一般参拝席に着いていただくこととし、一般参拝席の半数を超えないよう配慮いただくことをお願いする。

ニ) 参拝記念品

御遠忌法要に参拝された方で、御香儀を志納いただいた方には記念品をお渡しする。

ホ) 団体参拝バス運行

各組団体参拝の方の交通手段として、団体参拝バスの手配を行う。団体参拝バスについては、各組団体参拝の実状に鑑み専門業者を介して調整する。

ヘ) 駐車場

一般参拝者、帰敬式受式者、庭儀参加者については、駐車場の確保が必要となる。しかし、別院近隣においては相当厳しい状況である。当然、駐車場確保のための検討は行うが、極力、乗り合わせていただくお願いをするなどご理解を求めていく必要がある。

各組団体参拝割当数【案】		※各組間調整を踏まえて最終決定とする。									2018.07.10 現在	
法要期日		10日(金)		11日(土)						12日(日)	団体参拝 同朋唱和 合計数	
座		日中	遠夜	日中			遠夜			日中		
内容		落慶法要	音楽法要	同朋(三淘)			同朋(五淘)			結願庭儀		
組	各組同参合計数			同朋唱和	団参	合計	同朋唱和	団参	合計			
高山一組	297	86	110	31	11	42	42	25	67	89	394	
高山二組	365	106	106	83	13	96	66	31	97	109	514	
吉城組	90	26	26	33	3	36	40	8	48	27	163	
清見組	87	26	26	55	3	58	21	7	28	26	164	
益田組	278	81	80	42	10	52	35	24	59	83	355	
朝高組	87	26	0	39	3	42	38	7	45	26	139	
荘白川組	66	19	19	46	3	49	24	6	30	19	136	
	1,270	370	367	329	46	375	266	108	374	379	1,865	
来賓数(出仕者を除く)		10	5			4			5	0	24	
自由席・予備席		94	94			95			95	95	473	
総席数		474	466			474			474	474	2,362	

⑦ 御遠忌期間中の境内設備

御遠忌法要参拝者対応のため、本堂をはじめ境内地各施設に仮設設備を整える。設置にあたっては専門業者と相談し、より参拝者に配慮した設備となるよう対応する。

⑧ 御遠忌期間中の境内での催しについて

- イ) 親鸞聖人関係書籍ブックフェア
- ロ) 物品及び飲食物の出店販売

⑨ 祝賀会

宗祖御遠忌厳修及び別院本堂修復完了を祝して祝賀会を行う。

- イ) 期 日 2019年5月11日 午後7時～
- ロ) 会 場 高山グリーンホテル
- ハ) 案内対象 門首・鍵役・宗務総長・他来賓・教区内寺族及び門徒役職者
関係団体役職者 他
- ニ) 定 員 200人 (来賓者を含む)
- ホ) 会 費 ¥10,000-

⑩ 御遠忌法要執行体制

御遠忌法要の執行体制については報恩講の執行体制を基本とし、御遠忌法要の規模に適った体制に更に整える。

これについては、法要教化部会の中に「御遠忌法要の執行体制に関する企画検討会」を設けて、10月末までに案を作成し、12月末には調整の上決定する。

2 御遠忌讃仰行事

① 家族 de ご遠忌 (子どもご遠忌法要) 勤修

イ) 概 要 高山教区・高山別院では、2019年5月の飛騨御坊御遠忌750に先立ち「大人も子どももほとけの子」をテーマに「家族 de ご遠忌」をお勤めする。50年に一度の宗祖の御遠忌に、未来を担う子どもたちとその家族、大切な人々と出遇ってほしいとの願いから勤められる。御本尊の手渡し式を検討。

- ロ) 期 日 2019年4月28日
- ハ) 会 場 高山別院

② 第37回 御遠忌讃仰真宗公開講座 (御遠忌讃仰講演会)

- イ) テーマ 親鸞聖人に遇う
 - ロ) 開催期日・講師・内容
 - ハ) 別院本堂
- | | | |
|-----|--------------------------------|----------------|
| 1回目 | 期日：2018年11月2日 | 『御伝鈔』拝読後 |
| | 講師：榑野明仁氏 岡崎教区本澄寺 | 内容：「宗祖の生涯」 |
| 2回目 | 期日：2019年2月18日 | |
| | 講師：酒井義一氏 東京教区存明寺 | 内容：「流罪」 |
| 3回目 | 期日：2019年4月中 | |
| | 講師：藤場芳子氏 金沢教区常讃寺 | 内容：「御同朋御同行の世界」 |
| 4回目 | 期日：2019年5月10日 | 『御伝鈔』拝読後 |
| | 講師：やなせなな氏 浄土真宗本願寺派・シンガーソングライター | |

③ 特別展「飛騨と親鸞聖人—飛騨真宗の形成と高山別院照蓮寺の歴史」(宝物展)

イ) 概 要 親鸞聖人の本願念仏の教えは、嘉念坊善俊上人によってはじめて飛騨に伝えられ、白川郷に念仏道場が建立された。その照蓮寺は、荘川中野そして高山へと寺基を移しながら、真宗の中心道場として多くの飛騨のひとびとの崇敬を集め、精神・生活・政治・文化に大きな影響を与えた。このたび、飛騨御坊御遠忌750の厳修に併せて、親鸞聖人と飛騨真宗の

祖善俊上人の遺徳を顕彰し、真宗の教えが飛騨人に受容・継承されてきた歴史を振り返り、未来へ伝承されることを願って特別展を開催する。内容としては、高山別院照蓮寺及び飛騨の寺院・門徒、各地に伝来の本尊・聖教・影像・文書・工芸品などの法宝物を展示する。

- ロ) 期 間 2019年4月27日～5月12日
- ハ) 会 場 「高山別院寺宝館」及び「高山市まちの博物館」
- ニ) 記念講座 特別展開催に併せて2回を予定 展示解説：5月前半に1回開催
- ホ) 共催・協賛 高山市・高山市教育委員会・飛騨高山まちの博物館

④ 御遠忌讃仰ブックフェア（一般書店開催）

イ) 概 要 親鸞聖人のことを一人でも多くの方に知っていただきたい！御遠忌に向けて、そういった機会をさらに広げたいとの願いから、飛騨地域の一般書店のご協力をいただき、「御遠忌ブックフェア」を開催。また、御遠忌法要中の境内地でも販売コーナーを設ける。

- ロ) 期 間 2019年3月1日～6月30日（御遠忌期間中開催：5月10日～12日）
- ハ) 会 場 <開催書店>
 ブックス・アイオー（高山市岡本町2丁目41 カルパティオ）
 田近書店 本町店（高山市本町2-5）
 三福寺店（高山市三福寺町407-1） 2店舗開催
 <御遠忌法要開催> 高山別院境内

⑤ パネル展「本山荘川桜」展示

イ) 概 要 2017年12月に真宗本廟境内阿弥陀堂南側に移植された本山荘川桜。その植樹式や満開の荘川桜の写真をパネル展で紹介する。

- ロ) 期 間 2019年4月20日～5月末
- ハ) 会 場 別院本堂内

⑥ 各組御遠忌讃仰行事

2019年5月の宗祖の御遠忌に向けて、各組においてお待ち受けの機運を高めるとともに、これまでの組の課題を踏まえ、御遠忌後にもつながるものとして御遠忌讃仰行事を行う。

<各組讃仰行事実施計画>

	期日	内容	講師	会場
高山1組	2019年3月30日（土）	講演会・シンポジウム	高橋源一郎氏	別院本堂
高山2組	2019年3月9日（土）	同朋唱和法要など（教化冊子の作成・披露）	未定	別院本堂
吉城組	2018年6月3日（日）	お待ち受け法要	木名瀬勝氏	南春寺
清見組	未定	中村久子講談・音楽法要	未定	
益田組	2018年6月28日（木）	第31回益田組真宗講座を讃仰事業と位置づける	真城義麿氏	萩原齋センター
朝日高根組	2019年	おたいや参加者対象・記念講演	未定	
荘白川組	2018年10月初旬		三島多聞輪番	

※ 各組開催事業の名称には「飛騨御坊御遠忌750讃仰」「飛騨御坊御遠忌750お待ち受け」など、教区・別院御遠忌のお待ち受けであることを明示する文言を入れて開催いただくよう配慮いただく。

※ 開催にあたっては高山教務所長（御遠忌事務局長）・高山別院輪番（御遠忌相談役）の出席も配慮いただく。

※ 各組作成の広報物には、極力、2019年5月の御遠忌ロゴや御遠忌テーマロゴなどを表示いただくようお願いする。

3 広報について 「ごぼさまの御遠忌に参らまいか」

飛騨御坊御遠忌750をお迎えするにあたり、下記のとおり『ひだご坊』紙面やホームページなどで広報活動を行う。

しかし、紙面やホームページでの周知に止まらず、「ごぼさまの御遠忌に参らまいか」という人から人への呼びかけが何よりも大切である。御遠忌法要を機縁として、今こそ住職・門徒が「いっしょに参らまいか」と誘い合ってお参りするご坊の姿をつくりあげ、その呼びかけが広報との相乗効果をもたらすと信じ広報活動に取り組む。

イ) 『ひだご坊』紙を中心とした広報の展開

御遠忌特別号 2019年1月カラー版発行（通常号とは別に発行）

御遠忌報告号 2019年6月カラー版発行（通常号として発行）

※必要に応じて通常号より増数し寺院配布などを行う。

※通常号においても、随時御遠忌関連の広報は行う。

ロ) 御遠忌ポスター 2019年3月上旬発行。

ハ) 御遠忌法要パンフレット 2019年3月下旬発行。

ニ) 讃仰行事の個別広報について

各讃仰行事の性質によっては個別にポスターやチラシなどが必要と判断されるものが考えられるが、これについては各実行委員会と広報小委員会で連携し取り組む。

ホ) その他の広報物の発行

ポスター及びパンフレットの他、ひだご坊ホームページや外部媒体（雑誌等、有料又は無料）による広報も行う。

ヘ) 近隣との連携 安川通、下一通に御遠忌告知の垂れ幕を掲示いただく。



御遠忌 web ページ開設

4 法要厳修に係るその他の事項

① 儀式声明作法研修会（寺族研修小委員会と共催）

下記のとおり、御遠忌委員会（式支配所）が主催して開催。

【儀式講習会】

イ) 期 日 2019年2月中

ロ) 内 容 内陣出退作法・和讃本作法・行道作法 他

ハ) 講 師 御遠忌式支配

ニ) 対 象 式支配・列座・掛役・助音・御遠忌内陣出仕者・教区内有僧籍者

【声明講習会・掛役講習】

イ) 期 日 2019年2月下旬

ロ) 内 容 第一部：声明講習会・第二部：掛役講習会

ハ) 講 師 掛役講習ができる本廟部堂衆

ニ) 対 象 式支配・列座・掛役・助音・御遠忌巡讃者

【模擬法要（習礼）】

- イ) 期 日 2019年4月中
- ロ) 内 容 模擬法要
- ハ) 講 師 本廟部定衆
- ニ) 対 象 式支配・列座・掛役・助音・伶人・御遠忌内陣出仕者・有僧籍者

【雅楽研修会】

- イ) 期 日 未定
- ロ) 内 容 雅楽講習
- ハ) 講 師 未定
- ニ) 対 象 伶人

5 御遠忌記念事業「高山別院本堂等御修復工事」

① 本堂御修復工事の見通し

昨年12月から着工された御遠忌記念事業「高山別院本堂等御修復工事」（第二期工事）については、2018年7月20日現在、内陣工事以外はほぼ完了し、耐震格子壁化粧材敷設、放送設備の設置や畳及び建具の搬入、足場撤去及び外構工事などを残すまでとなった。

7月中旬からは、追加工事となった内陣本間の床板張替え工事が行われており、8月上旬には完了予定で、お盆明けからは内陣修復工事に取り掛かることとなる。現在、京都小堀仏具店において須弥壇及び宮殿をはじめ仏具の修復が進められており、10月中旬までにはそれらの搬入が完了する予定である。

これにより、本堂の明け渡しを当初の予定を早め、10月20日とすることが確認されている。

② 本堂引き渡し 2018年10月20日予定

③ 御本尊還座式

- イ) 日 時 2018年11月1日（金） 午前10時～
- ロ) 還 座 御本尊・嘉念坊上人御影
 - 嘉念坊上人御影については、仮の厨子を設けて還座する。
- ハ) 執行者 輪番・御遠忌式支配
- ニ) 参列者 <還座列の参列者>
 - 伶人・正副議長・正副門徒会長・輪番・責任役員・宗議会議員・参議会議員・
 - 記念事業部会幹事・真宗同朋の会会長・坊守会長・大谷婦人会会長・
 - 教務所長・列座・小堀仏具店
 - <参詣席参列> 組長・組門徒会長・白鳥設計士・奥原建設株式会社
 - <本堂待機> 御遠忌掛役
- ホ) 次 第 仮本堂 嘆仏偈・還座準備・還座列発進（楽入） ※晴れれば外を通過して
本 堂 還座列着・御本尊及び嘉念坊上人安置・献楽・正信偈六首引
挨拶（委員長・輪番 各5～10分）

6 宗祖御遠忌法要教化の取り組みについて（2018年度 教区教化研修計画概要）

高山教区・高山別院では今年度2019年5月に宗祖親鸞聖人の御遠忌をお迎えします。今年度の教化事業は一昨年度策定された「高山教区御遠忌研修計画」に基づき、御遠忌委員会とも連動しながら、重点施策である「同朋唱和推進」「青少幼年教化」「帰敬式推進」を三つの柱として進めます。

また、この御遠忌後2020年には岐阜教区との教区合併が行われることが決定されており、教区改編後には、高山別院を中心とした教化体制を再構築し教化事業を推進していくために、一つひとつの事業を丁寧に点検しながら展開してまいります。

高山教区御遠忌研修計画

1 期間 2016年度～2019年度

- ※ 御遠忌 2019年5月10日～12日（2018年度）
- ※ 教区改編 2020年7月（2020年度）
- ※ 教化委員会の任期 2017年度～2019年度

2 重点課題

御遠忌に関する共通の課題として、以下の2点を挙げる。

① 「伝える・伝わる」ということ

核家族化・少子化の中で関係性が希薄化する現代、家庭においても、社会においても、今まで伝わってきた様々なことが伝わらなくなってきた。私たちまで伝わってきたものを次の世代に如何に伝えていくかが課題である。

② 「報恩講」の見直し・お内仏を中心とした生活

御遠忌に関する意見交換の場で高山教区の「報恩講」の衰退が多く語られた。2012年度に実施された教勢調査においては、「お内仏での報恩講」のお勤めが低率・減少傾向であることが明らかになっている。このことは2014年度教区教化研修計画にも示されており、「家庭におけるお内仏を中心とした聞法道場の確立」として課題が掲げられている。

「報恩講教団」として伝統されてきた宗門の歴史を考えれば、毎年の報恩講の積み重ねと御遠忌は別の流れにあるものではなく、あらためて、宗祖御遠忌法要推進の取り組みとして、「報恩謝徳の御仏事としての報恩講」を課題としていく。

3 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌テーマ

御遠忌テーマ「雑行を棄てて本願に帰す ―このままでいいのか、今の世・この私―」を掲げ、教化に取り組む。

4 重点施策

① 青少幼年教化

家族 de ご遠忌（子ども御遠忌）を一つの縁とし、家庭・地域・寺院、あらゆる場を通して次の時代を担う青少幼年層へお念仏の教えを手渡していく。

② 同朋唱和推進

宗祖の御遠忌で、正信偈・念仏・和讃を皆でお勤めできるよう継続的な研修の場を設ける。

③ 帰敬式推進

すべての門徒が帰敬式を受式して御遠忌をお迎えすることができるよう取り組む。

5 事業展開

毎年の教化事業の中で小委員会ごとに具体的目標を定め展開していく。

宗祖御遠忌記念出版及び御遠忌法要教化に関する刊行物

イ) 記念出版『正信偈同朋唱和集—現代語訳付』

2017年6月、記念品版及び有償版の発行がなされた。また、住職寺族懇志金や同朋唱和参加者への記念品として和綴版の発行もなされた。

今後は、同朋唱和及び報恩講の振興に資するための勤行本として有償頒布を促進し、更に普及への取り組みを継続していく。

ロ) 教学大会記録誌『報恩講—伝承から新たな伝統へ』発行

2017年5月、高山教区において「真宗教学学会高山大会」が「報恩講—伝承から新たな伝統へ」をテーマに開催された。この取り組みについては、この度の高山における宗祖御遠忌の法要教化の視点として「報恩講」が掲げられたことにも連動しており、今後「報恩講」についての確かめを行える資料として、大会の記録誌を発行する。

発行については、教化研究所が担当し、2019年度中の発行を目指す。

ハ) 『私を照らすひかりの言葉』発行

『ひだご坊』紙においては、2014年1月号より「家族で語ろう」をテーマに、酒井義一氏著による「私を照らすひかりの言葉」と藤場芳子氏著による「女と男（ひととひと）のナムアマダブツ」の連載を行ってきた（藤場氏は連載中）。これは、『ひだご坊』の紙面から、家族の語り合の場（同朋会）が開かれていくことを願いとしたものであり、また、「御遠忌研修計画」の重点課題の一つ「伝える・伝わる」ことが形となっていくきっかけになればということも志向されてきた。

については、酒井氏の連載が完了したこと、御遠忌法要が目前であることを機会として、『私を照らすひかりの言葉』を御遠忌法要教化の取り組みとして発行する。

- 書 名 『私を照らすひかりの言葉』
- 内 容 『ひだご坊』紙2014年1月から2017年9月号まで連載の「私を照らすひかりの言葉」
- 著 者 酒井義一氏（東京教区存明寺）
- 発行時期 2018年12月末
- 編 集 広報小委員会

7 御遠忌特別会計及び募財計画

詳細については高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計 収入支出総計画及び2018年度 高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計 歳入歳出予算を参照

なお、懇志奨励のため、2018年4月1日より御遠忌懇志奨励内規を制定した。（次ページ参照）

【今後の予定】

- ・御遠忌記念五条袈裟の調製申込については順次受付中。
- ・完納寺院には順次、同朋唱和集（洋綴じ）を配布。併せて、同朋唱和集（和綴じ）を配布。
- ・完納寺院への感謝状（額入り）を順次手交。
- ・特別懇志記念品の決定、調製を行う。併せて特別懇志に関しても感謝状を作成し、記念品と併せて順次手交する。

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌懇志 奨励内規

2018年4月1日 施行

1 御遠忌懇志金納入に対するお扱い

(1) 御修復懇志金（門徒割当分）に対するお扱い
同朋唱和集（洋綴じ） 4万円につき2冊

(2) 住職・寺族懇志に対するお扱い

①同朋唱和集（和綴じ） 10万円につき1冊

②御遠忌記念五条袈裟のお仕立証

住職・寺族懇志を完納した寺院には御遠忌記念「白地蘇芳色御遠忌記念牡丹陰紋五条袈裟」のお仕立証を発行・交付する。

【交付条件】

- ・本山御遠忌懇志に滞納がない
- ・賦課金に滞納がない
- ・教区・別院の御遠忌懇志金のうち住職・寺族懇志を完納している

【依用制限】

- ・当該寺院に僧籍を有する満20歳以上の僧侶であって、准本座以上の者に限る。
- ・ただし、当該寺院住職・教会管理者の許可を得ていなければならない。

【依用範囲】

- ・真宗本廟及び高山教区内に限る。
- ・高山教区発行の仕立許可証にて調製したものに限る。

※お仕立証が交付された寺院のうち調製を希望する寺院については教務所で一括してとりまとめ発注する。（実費負担：64,100円）

※パールトーン（撥水加工）あり。裏地に高山教区・高山別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念及び寺院名の刺繍入り。

(3) 御遠忌懇志金完納に対するお扱い

完納寺院に対し完納証及び感謝状（額入り）を交付する。

2 特別懇志金納入に対するお扱い

ご納入額	記念品
10万円以上	蓮の実念珠
20万円以上	記念品1万円相当
30万円以上	記念品2万円相当
50万円以上	特別詮議

※企業・諸団体または希望される方には、上記記念品とあわせて額入りの感謝状を贈呈する。

3 一般懇志金納入（10万円未満）に対するお扱い

御遠忌記念葉（2枚組）をお渡しする。

4 収入票のお扱い

御遠忌懇志金の収入票の半額を、法要座次・衣体及び功章・旌賞の出願に使用することができる。ただし、本山の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌・真宗本廟両堂等御修復懇志金総御依頼額及び申請年度の経常費を完納した寺院に限る。

※収入票の使用期限は発行年度（宗派会計年度）から5年以内とする。

以上